



3週間後に証明される。弥彦バンクと相性がいい8人観えておいて損をするか？得をするか？

「小柄かつ華奢で、鋭い差し脚を持つ追い込み選手は弥彦で好走する理論」を披露しましたが、今回は当所成績から考察。バンクとの相性つて絶対にあるから。番組に

惠まれるし、気持ちも入る地元選手は除きます。S級S班もです。

まずは2011年の寛仁親王牌と2016年の記念を制している浅井康太。記念の方は先行で押し切っています。そして深谷知広は寛仁親王牌で優勝と準優勝。さて、ここからが穴で狙える選手たち。F1で好走しても、GIは全然違うからと言うなけれ。東京からいきます。

▼長島大介はここ2回のF-Iを連覇。6走して、4勝、2着1回。

▼吉田拓矢はチャレンジ、
A メージは自力選手ですよね。

級、S級（F-I）の3階級で完全優勝がある。こちらは自在な動きが身についてきた。高松宮記念杯

▽ 弥彥競輪 寛仁親王牌

好走するはずの選手 第2話
【新潟スポーツ 信氏 忠】

は超悔しい準優勝だつたもんな。

▼松谷秀幸は昨年と今年のFJで決勝に進出、優勝も。ほぼ毎

▼ 渡邊雄太はここ2回の記念
たり、まくつたりで連に絡んだ。

決勝に乗ついて、連対率は5割
2017年は逃げて、番手の諸手
愛に優勝をプレゼント。

▼野口裕史と久米康平は2回、
かあつせんされていないから、と
またまなのかもしだれないが、野口
は6走して4勝、久米はF-Iで5割。
優勝があつて、勝率は5割。

ちなみに脇本雄太のあっせんは、寛仁親王牌のみの5回。決勝進出は2012年と2015年。7着と5着に終わったが、リオ五輪前年にあたる2015年は赤板をから逃げちゃいました。

